Q 上柴公民館にもう少し案内看板をつけてほしい

A わかりやすいアクセス方法の周知を今後検討していく



加藤（かとう）　利江（としえ）

映像は
こちらから

Q 上柴公民館で会議を行った際に、場所が分からず帰ってしまった方がいた。案内が少なく、分かりづらいという声を周りから聞いている。案内板や看板を増設してほしい。

A 上柴公民館がアリオ深谷内にあることを知らないと公民館にたどり着けないことも想定されることから、上柴ショッピングセンターと相談しながら、わかりやすい上柴公民館へのアクセス方法の周知について今後検討していく。

●民生委員・児童委員の活動

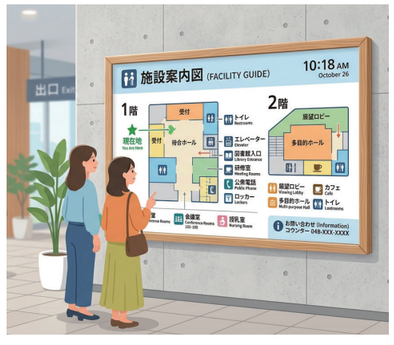
Q 市独自の手当支給制度の創設を。

A 県が、活動の際に必要となる経費を実費弁償として、一人あたり年間６０７４２円を支給していることに加え、市は県と同額の活動費を独自に上乗せ、合計１２１４８４円を支給している。このことから、市独自の手当支給制度の創設は考えていない。

●保護司の活動

Q 市独自の手当支給制度の創設を。

A 保護司は非常勤の国家公務員であることから、市独自に手当を支給することは難しいが、活動に要する費用は実費として支給されている。また、人権政策課が深谷地区保護司会の事務局として会の活動を支援しているほか、会への補助金の交付や会議室の無償利用等の支援を行っている。



Q 深谷駅前交番付近に自動改札口を設置できないか

A 新たな改札口を設ける考えはない



山出（やまで）　秀明（ひであき）

映像は
こちらから

Q 深谷駅前交番付近に飲食スペース、土産物などの物販、および観光案内所を設置できないか。

A 中心市街地での周遊の観点から、深谷駅北口の限られた場所での飲食や物販の実施は考えていない。また、観光案内所についても利用者の利便性を損なうことが想定されるので考えていない。

●災害援助について

Q 熊本地震において、市としてふっかちゃんとくまモンのイラストを用いたポロシャツを作成して売り上げの一部を寄附したらどうか。

A すでに市では、地震直後から市内公共施設等への義援金箱の設置と、どんなたでも時間と場所を選ばず、より迅速で効率的な、深谷市地域通貨ネギーによる義援金としての寄附受付を行っている。

●リサイクル奨励金について

Q 新たに増量実績となった団体に対する加算制度が増設されたが、前年度実績を1％以上上回るという条件を見直せないか。

A 加算制度については、今年度から新たな取組として推進しており、年度実績の検証もこれからの段階である。そのため、条件の見直しは予定していない。今後の実績データ等を検証しながら、制度の実効性等を検証していきたい。



深谷駅前交番付近

Q アンダーパスが水没した際の通行止め等の安全対策は

A 冠水する可能性と必要性に応じて通行止めを行う



坂本（さかもと）　博（ひろし）

映像は
こちらから

Q 市が管理しているアンダーパスは何ヶ所あるか。

A 国道17号深谷バイパス下に４ヶ所、国道１４０号バイパス下に６ヶ所、秩父鉄道下に１ヶ所、関越自動車道下に２ヶ所、中瀬地内の上武大橋下に１ヶ所の計14ヶ所である。

Q すべてのアンダーパスで、排水処理設備が設置されているか。

A ６ヶ所に排水ポンプを設置し、一定の水量になると強制的な排水を行う。また、その他８ヶ所については、側溝により自然流下で排水する構造となっている。

Q 冠水する可能性と必要性を待たず、通行止めを行う事は可能か。

A 警察と相談した上で可能であると考えるが、利用者がいる中で通行止めにするタイミングを慎重に考慮する必要がある。今後、国がガイドラインを示す方向であるので、その動向を踏まえて今後検討していく。



豪雨時 アンダーパス冠水 危険

●残骨灰について

Q 残骨灰は、どのように処理されているのか。

A 指定管理者が契約した都内の処理業者に、無償で引渡しをして、適切に処理を行っている。

Q 残骨灰に含まれる金・銀・パラジウム等の希少金属を売却し火葬場の維持管理費にする考えはないか。

A 残骨灰は、亡くなられた方の尊厳とご遺族の感情に配慮し取り扱う事が重要である。今後、国や近隣自治体の動向を注視し、慎重に検討する。

Q バリアフリーに配慮した「りんごの棚」の設置を

A 今後、設置場所を含めて検討を進める



繋（つなぎ）　由香（ゆか）

映像は
こちらから

Q 「りんごの棚」に必要な資料として、深谷図書館の子ども向けバリアフリー資料の所蔵状況は。

A 大活字本１８７冊、LLブック45冊、布絵本25点、点字資料２１３冊などを所蔵している。

Q 録音図書や、読むことに困難のある方のためのデイジー資料について、その存在や利用方法をどのように周知しているのか。

A 図書館公式サイトでの周知や、全館でのバリアフリーコーナーの設置、資料の展示、貸し出しを行っている。また、深谷図書館では小学生の図書館見学で、バリアフリーコーナーや図書拡大機を紹介している。

Q デイジー資料や再生機器について、手帳のない方の登録は可能か。

A 障害者手帳がなくても、読書が困難な方は利用対象となる。窓口で本人や家族から状況を聞き取り、チェックリストを用いて利用の可否を確認している。

Q 布絵本については、おはなし会の準備時間を利用し、子どもや保護者が手に取る機会を設けてはどうか。

A あかちゃんタイムでの布絵本の展示・案内を今後再開したい。おはなし会についても、布絵本に触れる機会と捉え、検討していく。

Q 館内でデイジー資料等を利用する際、子どもと保護者が一緒に利用できる環境や、音漏れに対する配慮はあるか。

A 音漏れを防ぐヘッドフォンを用意し、保護者も一緒に利用できる。児童コーナーでも使用可能である。



寄居町立図書館の「りんごの棚」